

製品名: ATP6AP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82743**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6AP1
別名	16A; CF2; Ac45; XAP3; XAP-3; ATP6S1; VATPS1; ATP6IP1
遺伝子 ID	537.0
SwissProt ID	Q15904
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATP6AP1 (AA: 51-151) の精製された組み換え断片。

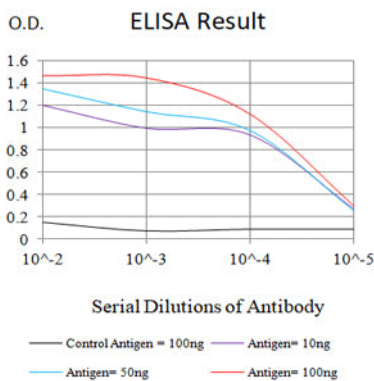
背景

この遺伝子は、真核生物の細胞内小器官の酸性化を媒介する多サブユニット酵素の構成要素をコードしています。液胞 ATPase (V-ATPase) は、細胞質 V1 (ATP 触媒部位) と膜貫通 V0 ドメインで構成されています。V-ATPase 依存性の細胞内小器官の酸性化は、

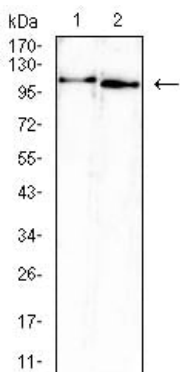
タンパク質選別、酵素前駆体の活性化、受容体を介したエンドサイトーシスといった細胞内プロセスに不可欠です。この遺伝子がコードするタンパク質は、V-ATPase を介した神経内分泌分泌顆粒の酸性化を促進する可能性があります。また、このタンパク質は初期発生においても役割を果たしている可能性があります。

研究分野

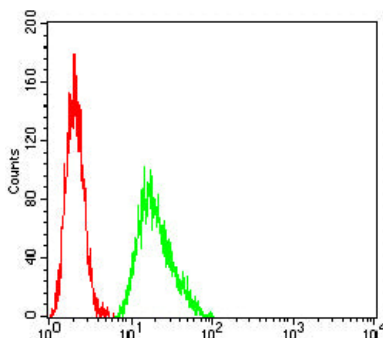
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



PC-3 (1) および Raw264.7 (2) 細胞溶解物に対する ATP6AP1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



ATP6AP1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。